THAT WE MAY SERVE TOGETHER
2021— 2022

共に仕えるために

世界宣教の日　2021 年 10 月 3 日

日本基督教団 世界宣教委員会

はじめに

MICHIKO NISHINOSONO
西之園路子　世界宣教委員長

主の御名を讃えます。

昨年から続くコロナによって世界中が様々な影響を受けています。ほとんどの宣教師が一時帰国もままならない中、今年は教団派遣宣教師の皆さんとオンラインで個別にミーティングさせていただく機会を持ちました。国によって、感染状況やその対策にも差があり、また時期によっても状況が刻々と変化していますが、それぞれの置かれた場で、その時々の状況に対応し、様々な工夫をしながら宣教の働きが続けられてきたことを、感謝をもって覚えます。

私が現在仕えている野田教会（千葉県）でも、昨春は在宅礼拝を呼びかけ、オンラインでの礼拝配信を始めました。コロナ禍で葬儀の形も変わりました。ある教会員が亡くなり、ご自宅での家族葬と火葬場での火葬前式を行ったのですが、その時、アメリカ在住の娘さんが iPhone を介し、家族葬と火葬前式に参列され、父親に火葬前の最後のお別れの言葉をかけておられたことが印象に残りました。コロナで分断された世界がありますが、その一方で、このコロナ禍だったからこそ、オンライン等を用いて離れていても繋がり合うこともできるのだということを再認識しました。

私事ですが、昨夏、母を主の元に送り出しました。同じ日本に住んでいてもコロナのため、臨終の時も病院に駆けつけることはできませんでしたが、病院の理解を得、ICU に入院中の母の枕元で iPad を用いてのビデオ通話が許されました。直接会えなかった心残りはありますが、それでも息を引き取る直前に聖書を読み、祈るひとときを備えてくださった主の恵みを覚えます。主が共にいてくださる、それはこのコロナ禍にあっても変わらず、むしろより力強く私たちに示されていることを感じます。

「わたしは確信しています。死も、命も、天使も、支配するものも、現在のものも、未来のものも、力あるものも、高い所にいるものも、低い所にいるものも、他のどんな被造物も、わたしたちの主キリスト・イエスによって示された神の愛から、わたしたちを引き離すことはできないのです。」（ローマ 8 章 38 節、39 節）

皆様のお働き、福音宣教の業がこれからも祝され、主の恵みによって支えられますようにお祈りいたします。

THAT WE MAY SERVE TOGETHER

日本基督教団派遣宣教師・関係者

アジア

06　三浦照男　インド・アラハバート
2004 年就任、サム・ヒギボトム農工科大学

07　クアラルンプール日本語キリスト者集会　マレーシア・クアラルンプール

08　松本章宏　シンガポール
2013 年就任、シンガポール日本語キリスト教会

09　ベルトラン小川文子　フィリピン・ボホール
2012 年就任、ボホール・ゴスペルサチュレーション・プロジェクト

10　うすきみどり　台湾・台北
2006 年就任、国際日語教会

11　高井ヘラー由紀　台湾・台南
2018 年就任、台南神学院

12　長尾有起　韓国・ソウル
2015 年就任、韓国基督教長老会、ソウル第一教会

北アメリカ

13　石田　求　米国・カリフォルニア州
2020 年就任、シカモア組合教会　日語部

14　山本　一　米国・カリフォルニア州サンノゼ
2013 年就任、ウェスレー合同メソジスト教会

15　久山康彦　米国・カリフォルニア州ロサンゼルス
1988 年就任、ウェスト・ロスアンゼルス合同メソジスト教会

16　森谷和夫　米国・アラバマ州バーミングハム
2003 年就任、ファースト長老派教会

17　正木義道　カナダ・マニトバ州ウィニペグ
1974 年就任、ノックス合同教会名誉牧師／カナダ臨床会教育学会教授

パイン合同メソジスト教会
ユニオン日本語教会
日本人特別牧会

南アメリカ

18　小井沼眞樹子　ブラジル・バイーア州サルバドール市
2016 年就任、ヴァレリオ・シルヴァ合同長老教会

19　江原有輝子　パラグアイ・ピラポ
2019 年就任、ピラポ自由メソジスト酒井兄姉記念教会

ラ・グロリア教会　ボリビア・サンタクルス

ヨーロッパ

20　川上　寧・真咲　ベルギー・ブリュッセル
2016 年就任、ブリュッセル日本語プロテスタント教会

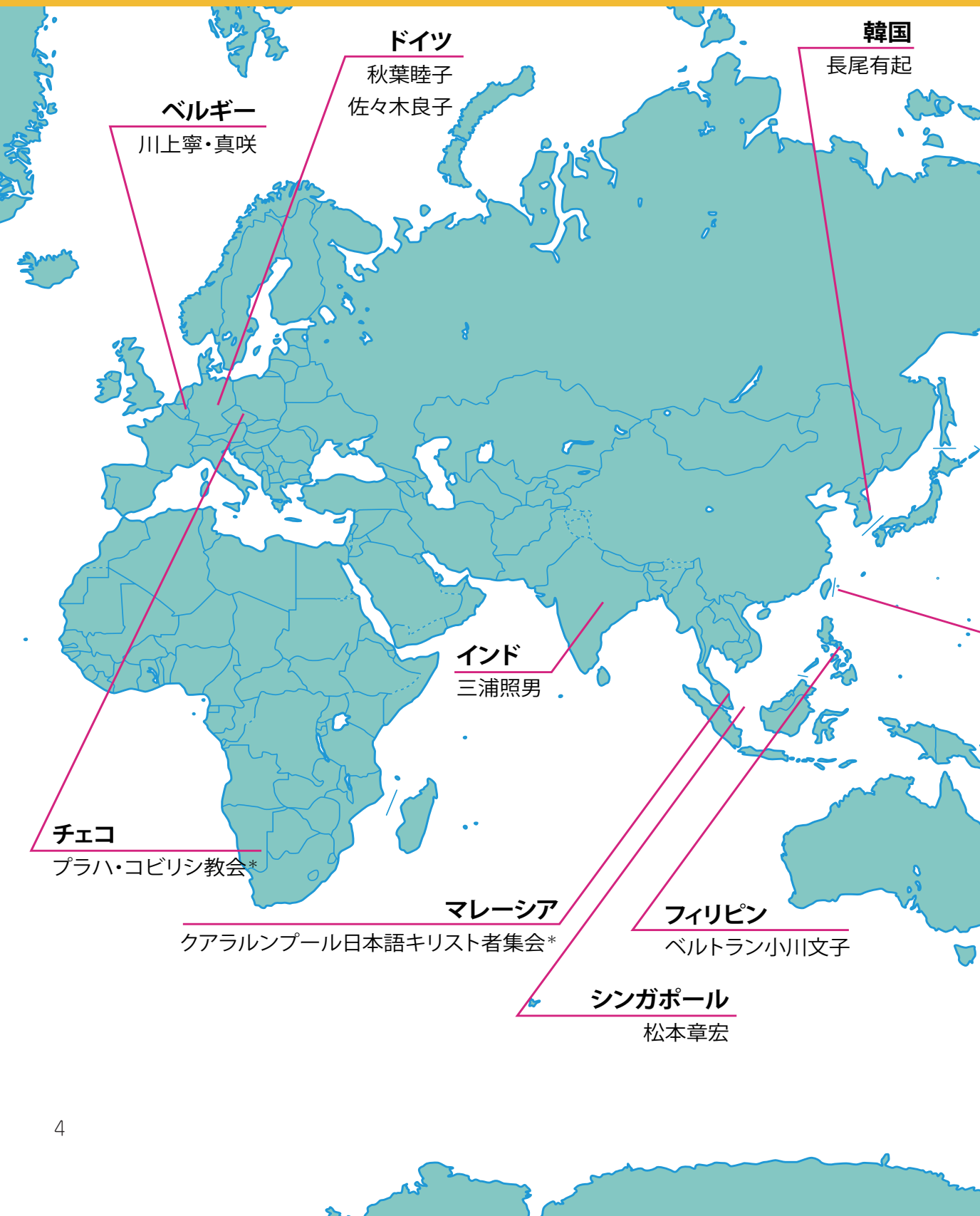
21　プラハ・コビリシ教会　チェコ・プラハ

22　秋葉睦子　ドイツ・ベルリン
2005 年就任、ベルリン日本語教会

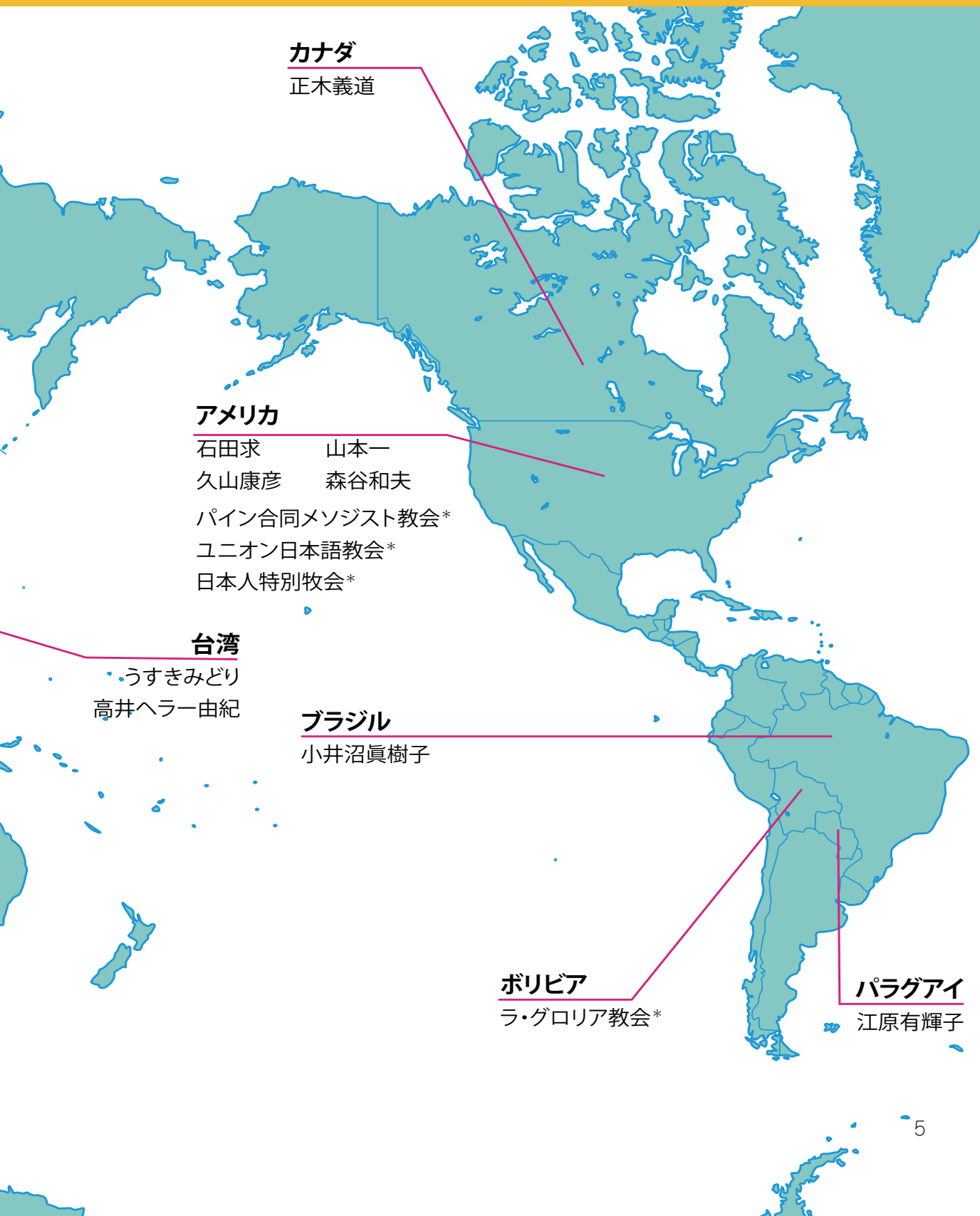
23　佐々木良子　ドイツ・ケルン
2016 年就任、ケルン・ボン日本語キリスト教会

THAT WE MAY SERVE TOGETHER

日本基督教団派遣宣教師一覧



（2021 年 8 月現在）＊印は関係教会です。



■農村ボランティアへの大豆講義

INDIA

サム・ヒギンボトム農工科大学
マキノスクール（学部長）
2004 年～

TERUO MIURA
三浦照男

私が活動している北インドでは、今も、将来も、希望をもって農村のために働きたいと口にする人々は非常に少なくなってしまいました。たとえ、農家出身でも、大学で農業を学んでも、会社員や公務員になるのが夢という学生が大半を占め、農村には戻らないのです。農村で暮らす人々は全人口 13 億人の割近くいるのです。そして都市部との経済、教育、情報の格差は益々広がっています。農村の学校を卒業したとしても、非正規雇用や日雇いに甘んじている農村住民が多いのが現状です。インドの国全体としては経済成長を果たしているとしても、その陰で生活不安を抱え希望を失った人々、困窮している人々が数多く存在するのです。

それが明白になったのがコロナ禍での様々な出来事でした。2020 年 3 月下旬に発令されたロックダウンで、食べるのも事欠くようになった大都会に住む数百万の出稼ぎ労働者とその家族数百万人が 5 百から千キロもある道のりを徒歩で帰郷するための行進が数か月にかけて行われました。道中亡くなった方も大勢いたとのことです。コロナ感染の不安もあり帰郷を果たしても決して歓迎されなかったようです。更に今年 5 月に発令された 2 度目のロックダウン中、貧困家庭の子どもの売買が摘発されたとの報道がありました。数千人の子どもがその犠牲になったという悲しい事実です。

多くの犠牲者、困窮を極めた人々は、そのほとんどが農村出身でした。都会に希望を託し、結果的にその希望を断たれた人々なのです。本来、このような人々を一人でも無くすことが、サムヒギンボトム大学のミッションです。献身的な農村リーダーの育成、貧困家庭の子ども教育、組織づくりと女性の社会的地位向上、有機農業の普及と栄養と健康等、今も、120 年前と同じ使命が与えられていることを忘れず、そのために何をしていくべきか、祈りつつ、神様と共に歩みたいと願っています。神様への信頼を通じて、ミッションが叶えられますように願い、祈ります。どうか皆様もお祈りに加えてくだされば幸いです。

Dr. Teruo Miura, Dean
Makino School of Continuing and Non-Formal Education
Sam Higgingbottom University of Agriculture, Technology & Sciences
Prayagraj (Allahabad) 211007 U.P. India
Phone/FAX : +91-532-2684306
Mobile : +91-894-8101373
Email : teruomiura2007@ybb.ne.jp

MALAYSIA

クアラルンプール

クアラルンプール
日本語キリスト者集会

Kuala Lumpur Japanese Christian Fellowship

KLJCF

KLJCF では 2020 年 3 月 15 日の日曜礼拝を最後に教会での礼拝は行われていません。マレーシア政府の発令した活動制限令によって全ての宗教の集会が制限されているためです。制限解除は 2022 年に入ってからになると思われます。活動制限令下、帰国する人が相次ぎ中、マレーシアに赴任や移住をしてくる人は皆無で、現在 KLJCF のメンバー数は１５人を切っています。

そのような状況ですが、日曜日にはフィリップ・コー牧師の英語の説教をはんな夫人が日本語に通訳した録音、2021 年 5 月からは月に 1 度は日本キリスト改革派教会高島平教会の新井主一牧師（KLJCF のメンバーの新井実兄の長兄）の YouTube の説教動画がメンバーに配信されています。また 2020 年 3 月 17 日から KLJCF のメンバーが順番に祈りを教会のホームページで捧げ、毎日更新しています。（https://kljcf.org/free/prayer2021）

1983 年の創立以来、KLJCF では日本人の牧師先生が着任されていた時期は半分くらいで、その他はフィリップ・コー先生やマレーシア人の先生の英語の説教を日本語に通訳して聞き、教会運営は信徒を中心にやってきました。信徒中心の教会運営の伝統が、教会での礼拝が禁止されているという危機的な状況の中で、毎日メンバーが祈りを捧げ続けるという形で守られています。18 歳の大学生から 70 歳を過ぎた退職者までがほぼ 10 日に 1 度回ってくる祈りのリレーを繋いでいます。教会での交わりはできませんが、他のメンバーの祈りを読むことで、以前より互いの心の深いところを知るようになり、祈りによって励まし合っています。

KLJCF の今の祈りの課題は、教会での礼拝が再開された後、日本からクリスチャン、それもお子さんのいるファミリーがやってきて、小さくなってしまった群れが大きくなることです。（執筆：諸江修）

Kuala Lumpur Japanese Christian Fellowship
c/o PJ Gospel Hall No.1A, Jalan Gasing
46000 Petaling Jaya, Selangor MALAYSIA
Email : moroe@sakura.net.my（諸江修）
Phone : 019-345-1334（コー・はんな牧師夫人）
教会 HP : http://kljcf.net/

シンガポール日本語キリスト教会
2013 年〜

AKIHIRO MATSUMOTO
松本章宏

MASAKO MATSUMOTO
松本正子

シンガポールでは、昨年 7 月に教会堂での礼拝が再開されて以来、人数制限の上下はありますし、讃美歌を歌えない辛さはありますが、今日まで集まり続けることができています。それに加えて、礼拝説教の YouTube 配信、Zoom によるバイブルスタディと祈り会（週 5 回）、「松本牧師の YouTube 聖書講座」（週 3 回）も続けられ、グローカルに御言葉を伝えて来ることができました。さらに、礼拝のライブ配信も始まり、世界のどこからでもリアルタイムで礼拝にご参加いただけるようになりました。私は牧師になって 30 年目ですが、これまでの 29 年間全部合わせたよりも多くの方々に福音を伝えることのできた 1 年間となりました。神様が伝道をお急ぎになっておられることを実感します。

私のシンガポールでの働きは 2022 年 3 月末で終わりますので、祈りつつ牧師招聘を進めて来ましたが、主の祝福の中で順調に進み、もうすぐ臨時総会を開く段階になりました。シンガポール JCF がこれからもここに住む日本語を解する方々にいのちのことばを分かち合う教会として前進し続けますようにお祈りください。

ジャカルタでの 7 年間、その後の 1 年間の巡回伝道と合わせて、合計 17 年間に及ぶ東南アジア宣教を終えて、私たち夫婦は来年 4 月に故郷の釧路に帰ります。ここで始まったオンラインの働きは、どこへ行っても継続できますので、聖霊の波に乗りつつ、来年から新しい働きを始めたいと願っています。これまで長きに渡って私たちのために祈り続けてくださった皆さんに心から感謝いたします。励ましの言葉にどれほど力づけられてきたかわかりません。日本基督教団の世界宣教の働きの上に、お支えくださる皆さんの上に、心から祝福をお祈りいたします。

教会：S.J.C.F (Singapore Japanese Christian Fellowship)
c/o St. George's Church, 44 Minden Road Singapore 248816
牧師館：Rev. Akihiro Matsumoto
Trinity Theological College DMQ1-2, 490 Upper Bukit Timah Road
SINGAPORE 678093
Phone：+65-8699-7490
Email：akimasatojun@yahoo.co.jp

教会 HP

PHILIPPINES

ボホール・ゴスペル・サチュレーション・プロジェクト
2012 年〜

AYAKO BELTRAN OGAWA
ベルトラン小川文子

BELTRAN GAMALIEL, Jr.
ガマリエル Jr.（通称ガム）

GAMALIEL III
ガマリエル三世（通称アリ／在）

HANA 花　NOA 望　LUKE 琉火

いつもお祈り本当にありがとうございます。フィリピンでは、外出時のマスクとフェイスシールドが定着し、学校はホームスクール形式で 1 年が過ぎました。コロナ禍の観光業低迷で、バイクタクシーの運賃や医療費も倍になりましたが、人々は相変わらず何でも冗談にし、苦しい人がいれば支えあい生きています。私たちの教会も家族も皆守られて元気に主に仕えています。4 人目のルカも無事生まれ、子どもたちは自然の中で遊び、たくましく育っています。心より感謝いたします！

■奉仕概要　フィリピンのビサヤ地方（主にボホール島）で宣教師として伝道して 10 年。現在のクライスト・ザ・ヒーラー国際宣教運動（CTHIMM）メトロボホール教会での牧会は 4 年目です。ボホールのタグビララン市の借家で礼拝し、朝昼晩 3 回の聖日礼拝には 150 名以上、祈り会には 60 名ほどが集います。家の教会は 20 か所ほどで、子ども達も加えると礼拝者は 500 名を超え、中心メンバーは 70 名程です。

■〈DA（Divine Appointment）〉　DA は私たちの教会の中心的な活動の一つです。3 か月に 1 回行われる 2 日間のセミナーで、多くの人がこの時に主に出会い変えられていきます。最近では 70 名程が DA に参加し、そのうち 42 名が受洗しました。

■〈別の町々でも〉　ボホールの反対側のベノニド町でも 180 人もの他教会関係の人々が DA に参加し、最近はタグビララン市周辺に留まらず、より広範囲に活動が広がっています。ロオン町ではガムの親友ビジョン夫妻が献身し、カラペの町では家の教会と子ども伝道が並行して始まりました。初回の子ども伝道は 100 人を超えました。近所の人も協力的で、私たちはどうやら「バイブル野郎」と呼ばれているらしく、なんと光栄なことでしょう！

■〈メディア伝道〉　ボホールのあちこちを『祈り歩き』し、この地を見渡しながら「まだまだできていない、もっとなすべきことがある、世界中に福音を伝えたいんだ！」とうずく思いに駆られることがあり、メディア伝道にも情熱を覚えています。夫は世界中にメッセージを送れる人々を育てるため、毎週 BlueFlameEagle tv フィルム・アカデミーとして 20 人ほどの青年に映像作りを教えています。

■〈祈祷課題〉　1. 多くの人々の救いとボホールのリバイバルのために。2. 教会に車、土地が与えられますように。3. BFEtv が主に用いられますように。セブの有名なフィルムスクールが売却に出され、購入の夢を描いています。お祈りに心から感謝して。

Rev. Ayako Ogawa Beltran
0077, Calceta St., Cogon Dist., Tagbilaran City, 6300 Bohol, Philippines
Phone： +63-948-1033333　Email：beltranmission@gmail.com
ブログ：http://00110-1-543639.at.webry.info/

ブログ HP

台湾基督長老教会　国際日語教会
2006 年～

MIDORI USUKI
うすきみどり

平安♪　いつもお祈りや、励ましのカード、お便りをありがとうございます。

世界中に注目された台湾のコロナ対策で、今春までは感染者もゼロに近い状態でしたが、今年 5 月一気に感染者が広がり、警戒レベルが上がり、緊張に包まれました。

外食文化の台湾で、外食は一切禁止、持ち帰りだけですが、それを戸外で食べるのも禁止。戸外でマスクを外すだけで罰金です。また、スーパーやコンビニだけでなく、事業所や教会ですら、出入りするときには、全部実名と電話番号、時間を残します。

また、室内に 5 人以上、室外でも 10 人以上集まってはいけないとの政令で、一切の宗教や団体活動は、オンライン以外禁止になりました。

そのため台湾全土の教会が、5 月半ばからインターネットでの礼拝や聖研・祈祷会となりました。ネットでの参加ができなくても、キリスト教テレビチャンネルがあり、24 時間いつでも礼拝や讃美、証しや聖書の学びに参加できるのは、感謝です。

2 か月で日々の感染者数が 30 人程度に抑え込まれています。また、政治的理由でワクチンが入手困難な状況でしたが、6 月に最初に日本からワクチンが寄贈され、その時には、台湾中から「ありがとう日本」の感謝の声で沸き上がりました。

コロナ禍の政策下で、台湾の政治家が国と人民を愛していることを皆で実感し、国のリーダー達と人民が信頼し合い、一致して動く様に、旧約聖書の世界が思わされ、教会のあり方も日々教えられています。私たちが属する台湾基督長老教会でも毎週ネットで牧師たちが祈りを合わせ、為政者のためにも必ず祈っています。台湾各教会から日本、世界のために祈っています。

御心が天になるごとく、地にも行われますように。

111-52　台湾台北市中山北路六段 728 巷 9 弄 3 之 1 号 2
国際日語教会内
電話：+886-(0)963-148835
MAIL：shalommidori@gmail.com

TAIWAN

台南神学院
2018 年～

YUKI TAKAI-HELLER
高井ヘラー由紀

DANIEL HELLER
ヘラー・ダニエル

JOHATHAN KOKI
ジョナサン恒基

JAMES SHOKI
ジェームス彰基

EMILY SACHI
エミリー幸

長引くコロナ禍で日本の皆様も大変な思いをしている中、祈りと献金を通してお支えくださっていることを心から感謝します。長い間コロナをうまく封じ込めていた台湾でしたが、5 月半ばに大規模なクラスターが台北で発生し、瞬く間にあらゆる教育機関の授業がオンラインに移行、私が教えている台南神学院も最後の 5 週間ほどの授業は全てオンラインに切り替わり、バーチャルに 1 年が終わってしまいました。レベル 3 の規制は 2 ヶ月以上続いていますが、7 月に入って感染者数がようやく一桁近くまで下がり、新学期は対面で授業ができるのではないかと期待しています。

足りない中国語で必死に授業をこなして 3 年、流石に度胸だけはついたのですが、中国語はまだまだ不自由で、何をやっても準備に時間がかかるため、どうしても休息時間が不足しがちです。新年度は仕事量がさらに増える予定です。神学教育において何が最も大切なのかを見極めつつ仕事をこなしていけるよう、お祈りいただければ幸いです。

この 1 年は、夫のダニエルが中央大学での講義を台湾からオンラインで行うことができ、長男ジョナサン恒基も高校卒業に必要な単位を 2 年間で取り終えて 3 年目は自宅学習だったため、家族 5 人が一緒にいることができました。特に授業がオンライン化した 5 月中旬以降の 2 ヶ月間は、次男ジェームズ彰基と末っ子のエミリー幸も自宅でオンライン学習、来客もなく、文字通り家族水入らずの生活でした。これまでバラバラになることの多かった私たちにとって、家族の交わりを主にあって深める良い時期になったことは感謝です。ジョナサン恒基は 7 月中旬に高校を卒業し、7 月末にダニエルと一緒に日本に帰国、大学入試に挑戦します。エミリー幸はコロナ禍があまりひどくなければ 9 月から米国の祖父母のところに行き、現地の小学校に通う予定です。今後の 1 年間は大きな変化の年になりそうです。それぞれが守られますようにお祈りください。

連絡先：701 台南市東區青年路 360-15 號
高井ヘラー由紀女士
自宅電話：+886-6-2080703
携帯電話：+886-901-480306
MAIL：hiyukiheller@gmail.com
URL：http://www.ttcs.org.tw

台南神学院 HP

ソウルチェイル教会のバーチャルクワイア

韓国基督教長老会
ソウル第一教会
2015 年～

YUKI NAGAO
長尾有起

アンニョンハセヨ！　韓国基督教長老会（PROK）に派遣されている長尾有起です。

一時期は世界的に評価されていた K 防疫（韓国のコロナ対策）ですが、2021 年 7 月現在、新規感染者が全国で 1500 人を超える日が続き、なかなか厳しい状況です。教会も政府の要請に従い、礼拝堂での対面礼拝とオンライン礼拝を行ったりしています。また韓国では、聖歌隊が毎週賛美の奉仕をする教会が多いのですが、独唱のみ認められている状況が長く続いています。賛美は祈りであり、もちろん一人で祈ることも大切ですが、一つの祈りを賛美を通して共にささげることが、どれだけ私たちに喜びや癒しを与えていたのかを改めて感じています。そのような中で、バーチャルクワイアと呼ばれる形で賛美をささげることも出てきました。一人ずつ、それぞれの場所で賛美を録画し、映像を編集することで、あたかも一緒に歌っているかのように見せるものです。必要なときにはテクノロジーも最大限利用しつつ、〈繋がること〉を大切にしていきたい時代です。

一方で、このコロナ禍が元々社会的に弱い立場にあった人たちにより大きな影響を与えていることが、既に世界各地で明らかになっています。韓国では、個人事業者への影響が大きいことは元より、外国人労働者の労働環境がより悪化していること、また 20 代～ 30 代の女性の自死が急増していることが分かっています。

今、韓国でも日本でも、教会自体が難しい状況にあり、自分たちのことだけで精一杯だと誰しもが感じていることでしょう。しかしこのような時だからこそ、「最も小さい者」のために働くのが教会の使命ではないでしょうか。それこそが真に「ひらかれた教会」であると信じています。

E-mail：yukinagao1985@gmail.com
ソウル第一教会（Seoul Jeil Church）
120 Mareunnae-ro, Jung-gu, Seoul, South Korea 04559
※自宅は上記住所の先頭に SeoJe Bldg. 501 と追加してください。

韓国基督教長老会総会（PROK Office）
4th Floor, 30 Kimsangok-ro, Jongno-gu, Seoul, South Korea 03129

USA

カリフォルニア州
シカモア組合教会　日語部
2020 年～

MOTOMU ISHIDA

石田　求

2020 年 4 月にシカモア組合教会に赴任予定でしたが、新型コロナウイルスの影響を受け、約 1 年日本で待機せざるを得なくなりました。待機期間中、日本にいながらシカモア教会の方々と ZOOM でオンライン礼拝を守ることができ、双方の大きな励ましとなりました。そして 2021 年 2 月 24 日にようやく渡米することができました。

私が渡米した時には、既にアメリカ国内でワクチン接種が進んでおり、私も 4 月上旬には 2 回目のワクチンを打つことができました。パンデミックの状況が少しずつ改善され、日語部は 5 月から礼拝堂での礼拝を再開しました。1 年 2 ヶ月ぶりに久々に直接顔を合わせて礼拝を守ることができたことは大きな喜びとなりました。現在は対面と ZOOM を使ったハイブリッド形式の礼拝を守っています。また、6 月 20 日には礼拝の中で、私の就任式が行われました。

すべての教会が経験することですが、ポストコロナの時代にどのように宣教を行うかが目下の課題です。礼拝もすべての人が対面で出席されている訳ではなく、高齢化が進み、以前のように皆が集まって食事をするなどの集会を開くことが難しい状況です。また日本からの駐在員や留学生が戻ってくる見込みもまだ立っていません。以前のような活動ができない中で、与えられている恵みを今一度確認していこうと呼びかけています。

シカモア教会には幼稚園が併設されています。小規模幼稚園ですが、この地で 26 年の歩みを続けてきました。私は毎週の聖書のお話に加え、日常の保育にも入り、子どもたちや保護者との関係を築いています。幼稚園を核とした教会ミニストリーの展開に重点を置き、ここから再出発していきたいと願っています。

皆様に覚えられていることが、遠い地で宣教師として働く者にとって大きな励ましとなっています。これからもお祈り、お支えをいただければ幸いです。

Sycamore Congregational Church
1111 Navellier Street El Cerrito, CA 94530 U.S.A.
教会 HP : http://www.sycamoreucc.org/jp/
Email：motomu_0326@yahoo.co.jp

教会 HP

ウェスレー合同メソジスト教会
2013 年～

HAJIME YAMAMOTO　TOMOE YAMAMOTO
山本　一　　山本知恵

SUMIRE　KOU
菫　　皓

私が教団派遣宣教師としてウェスレー教会に派遣されて今年で９年目を迎えます。皆様には私を含む家族の健康と働きを覚えてお祈りいただき、心より感謝いたします。

米国カリフォルニア・サンノゼの日本人町にある私たちの教会は昨年、創立125 周年を迎え、今年６月に記念行事をオンラインで開催いたしました。19 世紀末に日本からの移民たちによってその基礎を築かれた教会は、財政的困難、人種差別や第二次世界大戦時の強制収容などの苦難の中にあっても途絶える事なく、常に人々の信仰の拠り所として存在し続け、今や多様な人種の人々が集う教会、また地域社会に仕える活動的な教会となりました。常に私たちの思いを超えて働かれる神様の不思議な御業と恵みに感謝いたします。

このコロナ禍にあっても教会は地域に仕える使命を持って食料配布のプログラムやホームレス支援の活動を継続し、毎週 200 名近くの方々の日常生活をお支えする活動を続けています。また教会は１年余りの間、完全に閉鎖され、オンラインでの礼拝、聖書研究会を続けて参りましたが、この事によりアメリカで日本人牧師を招く事ができない教会の方々も参加してくださるようになり、御言葉による恵みを広く分かち合う事ができるようになりました。

９月より礼拝堂での礼拝や諸活動が再開する見込みですが、このコロナ禍にあって与えられた新しいつながりを大切にしつつ、これからも「愛神愛隣」を宣教の指針として、共に主の愛と希望を分かち合う信仰者の群れとして成長していく事ができるように、また、この地で日本語の礼拝と集会を継続していくことができるようお祈りいただければ幸いです。

125 周年の記念動画は YouTube の WUMC Sanctuary のチャンネルでご覧いただけます。

Rev. Hajime Yamamoto
Japanese Language Division
Wesley United Methodist Church
566 North Fifth St, San Jose, CA 95112, USA
Phone： +1(408) 295-0367　Fax：+1(408) 295-0612
教会 HP： http://www.wesleysj.net/

教会 HP

USA

ウェスト・ロスアンゼルス合同メソジスト教会
1988 年～

YASUHIKO KUYAMA　KEIKO KUYAMA
久山康彦　久山啓子

新型コロナのワクチン接種が進み、以前のような生活に戻ってきたロスアンゼルスですが、デルタ株の感染拡大により、再び感染が心配されています。コロナ感染により私達も親しい友人を失い、その深刻さを感じています。最近になって、やっと葬儀もできるようになりました。

教会は依然として閉鎖状態ですが、ウェストロスアンゼルス の礼拝は 8 月半ばからオープンの予定ですが、小さな子どものワクチン接種ができていないので、賛美もできません。この為に zoom と併用が続くようです。また、高齢会員の訪問も少しずつ再開しています。オレンジ郡の日本語礼拝は zoom で（日本語説教を毎月 1 回）行われています。オレンジ郡も 9 月から教会での礼拝を再開する事になっています。ランキャスターの教会はまだ目処がたっていません。

18 年間理事を続ける小東京の低所得高齢者住宅では、近隣のコミュニティー団体と協力して高齢者のワクチン接種を行いました。運転の出来ない高齢者が近くで安心して接種を受けることは、感染拡大を防ぐ為に重要で、出来るだけ早く接種を進めたいロスアンゼルス郡との共同作業でした。また、昨年から準備を進める耐震改修工事は、資金的な支えとなる免税債も州による発行認可を待っています。総工費が 55 億円を超えますので大仕事です。

財務理事を務める教区財団では、昨年教区のフードブログラムを通して八千食を提供することができました。好調なマーケットを利用して得た利益のほとんどを食べる物がない家族の支援に使う事が出来たのは感謝です。

私のライフワークであるボーイズタウン・プログラムは、コロナ禍の中でも様々な分野で進んでいます。訪日が出来ないので、指導者研修は zoom でテキサス、ロスアンゼルス、日本をつないで行いました。主軸のコモンセンス・ペアレンティングは厚生労働省に児童相談所に紹介される 11 のプログラムの一つに選ばれ、昨年より zoom によってサービスが提供できるようになりました。コロナによる巣篭もり状態の為に児童虐待が増える状況下で、引き続き家族に効果的な行動療法によるペアレンティングの方法を伝えていけるよう願っています。関連する、里親指導、発達障害児指導、そして学童保育でのプログラムも、引き続きそれぞれのスペシャリストと協力しながら展開しています。終わりのないミニストリーを楽しんでいます。

祈り　皆がコロナウィルス で苦しむ中で、教会が神の愛を具体的に伝える事が出来ますように。

Rev. Yasuhiko Richard Kuyama
828 7th St, Santa Monica, CA 90403 USA
Phone : +1-(310)450-3930（FAX 兼）
Email : dryrkuyama@gmail.com

アメリカ合衆国長老教会
ファースト長老派教会　協力牧師　2003 年～

KAZUO MORIYA
森谷和夫

TAMARA
タマラ

KIAMU
希編

AIDEN
愛伝

御名を讃美いたします。いつも私ども一家のためにお祈りくださり、また、私どもが皆様のお祈りよって支えられておりますことを、心より感謝いたします。

私どもがアラバマ州バーミングハム市のファースト長老派教会（Presbyterian Church USA – PCUSA）におきまして伝道・牧会を始めてから早 18 年が過ぎようとしております。

アラバマ州はここ 20 年程の間にドイツ、日本そして韓国の自動車産業の進出により加速的に国際化が進み、日本人人口は現在 4 千強と言われ、私共の住むバーミングハム（アラバマ州内最大都市）近辺では約 450 人である言われています。特に今年の秋から量産開始のマツダ・トヨタ工場の為に、州北部では日本人人口が増えてきております。

今年は、4 月のイースターより、それまで Online（YouTube および Zoom）だけでしか参加出来なかった礼拝を、実際に礼拝堂においてマスク着用で参加できるようにいたしましたが、ここアメリカでも、ここにきて急速に増えつつある新しいコロナ感染者数の影響で、再び Online だけの礼拝に戻るか、現在検討中です。わたくしは、早朝礼拝にて、月に一度説教奉仕をさせて頂きつつ、主礼拝でも約三ヶ月に一度の割合で、説教奉仕をさせて頂いておりますが、近いうちに再び自分の iPhone のカメラに向かって説教をするという形に戻る可能性も出てまいりました。
11 年前の晩秋より妻と共に始めた月一回の「婦人集会」や様々な集いは、コロナ禍の影響で、今もお休みさせていただいており、何時再開するかは、未だに決まっておりません。

わたくしの立場は協力牧師である為に教会からは謝儀をもらっておらず、平日は妻共々それぞれ別々の職場でサラリーマンとして働きつつ日本人伝道に家族共々努めております。2 人の子供も 20 歳と 14 歳で育ち盛りであるために、共働きの身では色々と苦労もありますが、夢である日本語礼拝開始に向かって家族共に伝道に励んでおります。これからも私ども一家およびファースト長老派教会の働きの上に、お祈りいただければ幸いです。

Rev. Kazuo Moriya
4511 Old Tavern Road, Birmingham,
AL 35242 U.S.A
Email : tamakazu@charter.net

CANADA

ノックス合同教会名誉牧師（日本語部牧師）
カナダ臨床牧会教育学教授　1974 年～

YOSHIMICHI MASAKI　HIROKO MASAKI

正木義道　正木浩子

第二次世界大戦勃発後、1942 年に西部海岸地区から強制移動された「カナダ日系人」の内 1200 名が汽車でマニトバ州に定着。カナダ合同教会国内宣教部の配慮の下、赤川牧師だけが車の所有を許され、マニトバ州に散らばった日系人の訪問に全力を注いだ。1944 年ウイニペッグ市内への移住が許可、1945 年 4 月 15 日 Knox United Church 内に「マニトバ日系人合同教会」が創立した。以来 5 人の牧師（赤川・小倉・古屋・則末・正木）が伝道に携わる。正木が定年退職時、新任牧師を期待したが得られず , 2000 年「Knox United Church 日本語部」になる。

日本語での礼拝出席はわずか。3 世たちはカナダ人としての自覚が明確で、各分野の専門職（教師、医師、薬剤師、看護婦、弁護士、コンピュター、警察官、会計士等）として世界的に活動している。

2020 夏に、カナダでも「コロナ禍」が発生し、ノックス教会は閉鎖の責任を政府から命じられた。或る福音教会は「神からの使命だから」との立場で、日曜日礼拝を維持された。マニトバ政府はこれらの教会に罰金を命じた。「Covid-19 禍」を契機に、ノックス教会は新しい移住者の受け入れを模索し始めた。それと、カナダ原住民に対して過去になした歴史的侮辱への責任を果たす事を自覚している。「コロナ禍」の現状は厳しく、教会役員の実行への指導に困難している。カナダ平原州の中心部にある Winnipeg のポスト・モダニズムの宣教の責任を負って、妻浩子と努力しています。

皆様のお祈りを感謝します。

Rev. Yoshimichi Masaki
729 Lanark Street, Winnipeg, Manitoba R3N 1M6 CANADA
Email : Ymasaki@shaw.ca
Phone : +1- (204) 489-3226

■新会堂。まだ名前が書かれていません。ゴベルト牧師(左)とペ-シリオ牧師(右)です。

ヴァレリオ・シルヴァ合同長老教会
協力牧師　　2016年～

MAKIKO KOINUMA
小井沼眞樹子

ブラジルではワクチン接種の効果が顕在化しつつあり、近頃はコロナ新規感染者数が減少傾向にあります。私も4月中旬に2回目の接種が済み、5月から免疫が確定しましたのでホッとしています。多くの皆さんが小さな者のためにお祈りしてくださることを、こころから感謝しております。

サルバドールはポルトガルによる植民地時代に奴隷売買の拠点だった都市で、アフロ・ブラジル文化発祥の地、人口の80パーセントが黒人系です。貧富の差は一目瞭然で、高層ビル街と隣り合わせに、マッチ箱を積み上げたような貧困居住区が至るところに広がり、私たちの教会もその一角に建っています。この地に100年以上前に伝道拠点が据えられ、そこから教会へと発展して61年経ちました。ですが、地域に住む信徒が高齢化して、会堂へたどり着くまでの階段を上れなくなり、伝道にも立地条件が不適当です。また、この地区には子どもたちや若者に相応しい教育施設や活動が全くなく、犯罪が多発する環境です。そこで、2016年に赴任して以来、平地への新会堂の建設と、旧会堂をリフォームして地区センターとして活用するプロジェクトを立ち上げ、多くの方々のお祈りと尊いご支援によって進めてまいりました。任期は今年の年末で満了になりますが、お蔭様で新会堂はほぼ完成し、目下、内部の用具や備品を購入設置しているところです。それが済んだ後は、旧会堂のリフォームに取り掛かります。恐らく、年内には献堂式の運びとなる見通しです。昨年来、外出自粛で一人アパートに閉じこもる日々でしたが、宣教師としてこの地に果たすべき使命を全うして任期を終えることができそうで、感謝に堪えません。「新しい革袋に新しいぶどう酒」を満たすのは現地の牧師方と信徒たちに委ねて、6年間、恵み豊かに過ごしたサルバドールを去る日が近づいてくるのを惜しみながら過ごしています。

祈り：ブラジルの貧しい人々の教会で働く宣教師が新たに起こされますように。

Rev. Makiko Koinuma
Av. Euclides da Cunha, 96 Apt1503
Graça,Salvador-BA CEP 40150-120 Brasil
Phone：+55-71-3015-0011
mobile：+55-71-99105-5322
Email：makiko.jo1511@gmail.com

PARAGUAY

ピラポ自由メソジスト日系教会
2019 年～

YUKIKO EHARA
江原有輝子

この時も、私どもを覚えてお祈りお支え下さり、感謝です。

コロナウイルス感染も 2 年目に入りましたが、パラグアイでは感染拡大が止まりません。2021 年 7 月半ばには累積感染者が 42 万人、死者は 1.3 万人になりました。これは、人口約 20 倍の日本の、同時期の死者数とあまり変わりません。ピラポでも感染者も死亡者もかなり出ています。教会の斜め向かいにある診療所も、近くて大変便利なのですが、職員から感染者が出て、多くの人が来院を控えるようになっています。

その中、2 月からワクチン接種も少しずつ進み、教会では 4 月に 86 歳の方が 2 度の接種をすませました。その後、牧師と 50 代の二人が 1 回目の接種をしました。今礼拝を休んでいる方々は、アレルギーのために接種をしないとのことで、なかなか礼拝に出席できるようにならず、とても残念です。

教会は、昨年 6 月の集会禁止緩和から今まで、一度も休まず対面での礼拝を守り、月に一度の聖餐式にも与かっています。昨年はできなかったイースター礼拝もペンテコステ礼拝も守りました。また、6 月 20 日の 2 周年の献堂記念日には、礼拝後にお茶とお菓子でお祝いしました。

昨年始めた SNS での聖書個所の配信は、遠くに住む方々に今も毎週送り続けています。また、教団東中通教会伝道師の片岡賢蔵先生がオンラインで開催なさっている動画作成講座を受講して、教会紹介動画を作りました。その後、献堂記念日の礼拝に来た方々のメッセージを録画して、2 本目の動画を作りました。それを SNS で献堂式に来られた方々にお送りした所、大変喜ばれました。コロナ禍でも守られて、新しい試みを続けさせてくださる神様に感謝しています。

Pastora Yukiko Ehara
Iglesia Methodista Libre Pirapó Nikkei,
Av. Japón y Ecuador, Centro, Pirapó, Itapua, Paraguay
Email : yukiko8888@gmail.com

ブリュッセル日本語プロテスタント教会
2016 年～

YASUSHI KAWAKAMI　MASAKI KAWAKAMI
川上　寧　　川上真咲

当教会はケルン・ボン日本語キリスト教会の家庭集会をきっかけに始まり、2006 年のペンテコステに設立されました。これまで、イギリスの宣教団体であるベルギー福音宣教会（BEM）の協力の下、BEM の所属教会として歩んできました。BEM が 2019 年に 100 周年を迎え、これを機にこれまでの方針を見直し、原点である「宣教」に更に力点を置くこととなりました。まだ福音を知らない人々のもとへ出て行き、その中に入っていくことを目指しています。またそれは、一人一人がキリストの弟子となることを目指すものです。名称も新しく「VIA NOVA」（ラテン語で「新しい道」の意味）となりました。

そのような中で、当教会もベルギー内における日本人コミュニティとどのように関わっていくことができるのかを模索してきましたが、2019 年夏以降、さまざまな面で困難な状態が続いています。

教会創立時より礼拝場所としてお借りしてきた教会から移転せざるを得なくなり、その後 3 ヵ月毎に礼拝場所が変わり、長期的に使用できそうな場所が見つかった矢先にコロナ禍で集まって礼拝をささげることができなくなりました。最終的にはその場所の使用も困難になり、未だに正式な礼拝場所の確保ができておりません。礼拝は 2020 年の 6 月から現在（原稿執筆時：2021 年 7 月）まで、オンライン配信で続けられています。

2021 年は教会も私たち宣教師も大きな転換期を迎えます。川上両宣教師は 9 月末をもって教会を辞任し、引き続き VIANOVA に所属しながらベルギーの在留邦人への宣教活動を新しく展開していく予定です。また、教会は現在 VIANOVA に留まるか、新しい教団、或いは宣教団体に所属するかを検討しています。それぞれの歩みが主に祝され、導かれますようお祈りください。

---

9 月以降のブリュッセル日本語プロテスタント教会連絡先
郵送先：Eglise protestante japonaise de Bruxelles
Avenue Delleur 17, 1170 Watermael-Boitsfort BELGIUM
教会 Email：brussels.nihongokyokai@gmail.com
教会宛の電話：+32 492 59 43 94（中村兄）
教会 HP：http://brussels-nihongokyoukai.blogspot.jp/

教会 HP

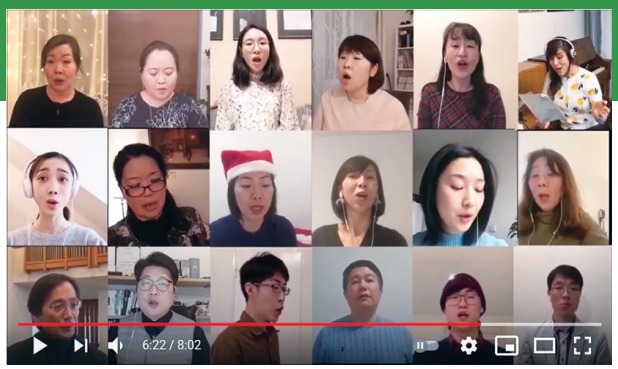
CZECH

プラハ

プラハ・コビリシ教会

SHINIL SON　　MERA MIN

孫信一　　関梅羅



プラハ・コビリシ教会は、チェコ兄弟団福音教会（Evangelical Church of Czech Brethren）に属する教会です。2000 年 1 月からチェコ語の礼拝とは別に韓国語礼拝が始められ、数年後から日本人の信徒が通訳を介して礼拝を共にするようになりました。チェコ在住日本人が次第に増える中で、日本語礼拝を独自に始める機運が高まり、2008 年 12 月に在日大韓基督教会の孫信一牧師が韓国の教会から派遣され、以来日本語による礼拝をささげています。

2021 年 3 月以来、新型コロナウイルスにより、チェコも人の移動や集会の規制がなされ、会堂に集い礼拝をささげることが困難な状況が続いています。最近になってワクチン接種が進み、規制緩和が期待されていますが、7 月現在、デルタ株の流行が広がりつつあり、先が不透明な状況です。日本語礼拝は、私一人であっても、ささげて来ました。集会が難しい一方で、オンラインの活用に努めるようにしています。毎月一度のチェコ語・韓国語・日本語会衆の合同礼拝は、オンラインで礼拝を共にしています。日本語礼拝では、出席できない会員のために、礼拝メッセージの録音の配布を始めました。録音を始めてみると、今まで気づかなかった面があらわになり、新しい課題が見えるようになりました。

関宣教師が指導する、プラハ在住日本人女性コーラス・グレイスシンガーズの活動も、コロナ事態で一緒に集まることができない状況が続いています。この機会に、昨年の年末からリモート合唱のプロジェクトを開始し、コビリシ教会の信徒や楽器演奏者と共に、リモート合唱動画を作成しました。新しい年を迎える曲として、ボンヘッファー牧師の「善き力にわれ囲まれ」を選んでいます。Youtube で公開していますので、ぜひご覧ください。動画の前半は、コビリシ教会に出席するレイハルト牧師が作曲されたものです（「プラハコビリシ教会善き力にわれ囲まれ」で検索）。

https://www.youtube.com/watch?v=lNxd24K4pn0&ab_channel=Gracesingers-MaeraMin

今年に入ってからもリモート合唱動画の作成を続けていますが、パンデミックの影響によって、思いもよらなかった方向に導かれ、賛美を分かつ喜びが新たに与えられたことを感謝しています。最後に、私どもを覚えて祈ってくださっている、日本基督教団の皆さんに心から感謝いたします。

Rev. Son, Shin-il
Kostel U Jakobova zebriku U Skolske zahrady1
18200 Praha 8 Kobylisy CZECH REPUBLIC
Mail : sonshinil@gmail.com
教会 HP : http://prahajpchristian.blogspot.com/

教会 HP

ベルリン日本語教会
2005 年～

MUTSUKO AKIBA
秋葉睦子
ANDREAS KRAMER
アンドレアス・クレーマー
JOHANN SATOSHI　THEODORE CHIHIRO　PAUL AKIRA
ヨハン悟志　テオドア千尋　パウル明

ベルリン日本語教会は 80 年代に日本人牧師による礼拝から始まりました。海外生活での葛藤や孤独を抱える中、母国語で御言葉を聞く礼拝と交わりは大切な場となっています。しかし海外受洗者が多く教会理解も全く異なり、高い流動性と経済的困難、高齢化など教会形成面でも課題が多く、主に喜ばれる、開かれた礼拝・信仰共同体を目指す日々です。

新型コロナウイルスの影響で教会も多くの変化がありました。ロックダウン中は対面礼拝を見合わせねばならず、ネットで説教メッセージを届け、頻繁に電話等で励まし祈りあう日々が続きました。4 月イースターから屋外で対面礼拝を許可され、マスク越しでも共に礼拝を分かち合う喜びを与えられています。首都ベルリンは日本人が少なく、普段からクチコミやインターネット、フェイスブック、案内紙配布などで地道にアピールしています。この大変な時でも、新来者が訪れ、赤ちゃんが誕生し、ご結婚されたカップルもいます。健康も守られています。困難の中にあって主が必ず希望の道を備えてくださることを、小さな群れみんなで確認し喜び合っています。感謝。

礼拝場所のドイツ教会とも良い関係の中、新型コロナによりバザーや合同礼拝等の計画が中止になりました。しかし昨年 9 月末には女性牧師チームでの、非常に躍動感に満ちたエキュメニカルなミリアム礼拝を守ることができました。また昨年中止となった東アジア合同礼拝は、綿密な準備を経て zoom 礼拝となり、韓国、中国、台湾、日本、ドイツの兄弟姉妹たちと、各国語での祈りや讃美を味わう素晴らしいひと時でした。地区の月曜エキュメニカル合同ペンテコステ礼拝は今年も Youtube ライブ配信礼拝を守り、心を合わせて主にある絆を確認し、希望を失わず、神様の新しい恵みを喜びました。また、ベルリン宣教局で定期的に情報交換や祈祷課題をオンラインで分かち合います。「このような時だからこそ、頻繁にコンタクトを取り続けましょう！」とメンバーを鼓舞し、東アジアのキリスト教会だけでなく社会・政治・環境問題にも関心を向け、主にある平和と連帯のため祈り、問題提起して下さるドイツの牧師先生方にいつも感謝しています。

皆様の励ましとお祈りに心から感謝し、本当に心強く嬉しく思っています。離れていても主にあって共にあることの喜びをかみしめています。宣教・牧会・3 人の子育てに家事と毎日大変ですが、コロナの収束とともに、どうぞこれからもベルリン日本語教会の信仰的成長、世界宣教の広がり、宣教師の働きのためお祈りいただけましたら幸いです。

Pfarrerin Mutsuko Akiba
Nikolaus-Bares-Weg 47, 12279 Berlin GERMANY
Phone : +49-(0)30-8431-4286
教会 HP : http://japgemeindeberlin.jimdo.com/
Email : mutsuko.akiba-kraemer@gmx.net

教会 HP

GERMANY

ケルン・ボン日本語キリスト教会
2016 年～

RYOKO SASAKI
佐々木良子

ケルン・ボン日本語キリスト教会はドイツ西部に位置しています。7 月 14 ～ 15 日にかけて、ドイツ西部を襲った洪水による被害は、隣接するオランダ、ベルギーの一部のみならず、ドイツ南部、オーストリア等、毎日被害が拡大している状況で心が痛みます。主のお支えとお慰めを祈るばかりです。私の近隣では、地下倉庫が浸水したお宅が数件ありましたが、教会の方々も含め事なきを得ました。日本や欧州国内から多くの安否確認のメールを頂き、温かなお気遣いが身に染み入りました。また、私たちのような外国語教会を統括している州教会の本部からもメールを頂き、心強く思っています。100 年に一度と言われている今回の災害は様々な大きな爪痕を残しており、お祈りの内に覚えて頂けたら幸いです。

さて、最近の教会活動は、新型コロナ感染拡大予防のために昨年 11 月から厳しい規制が続いていましたが、今年 6 月に接触制限が解除され、早速に顔を合わせて未信者向けの集会を開くことができました。一方で、会堂を拝借しているドイツ州教会は、依然として細かい制限があること、又、遠方よりいらっしゃる方が多いので、礼拝は引き続き 9 月までスカイプにて行う予定です。

そんな中、教会の次世代を担ってくださるであろう若いご家族が、7 月末に急遽日本に本帰国することになり、7 月 4 日に会堂にて歓送礼拝を行いました。1 年振りに一同が集まり、再会の喜びを分ち合いました。このことを機に、子育て世代のパパたちとの距離が近づき、「お父さんへの伝道」のヴィジョンが与えられました。更に、このタイミングで、帰国されるご家族と入れ替わりに、主は新しい方を送ってくださり、私たちの教会を励ましてくださっています。

昨年からひたすら忍耐の時を歩んで参りましたが、6 月から急速に新しい世界が開かれてきたように感じています。これからどのようなことが繰り広げられていくのでしょうか。主に期待して参ります。

Pfarrerin Ryoko Sasaki
住所：Breslauer Str.26. 50858 Köln Germany（牧師宅）
Phone： +49-2234-9298792
Mobile：+49-151-29106278
教会 HP：http://koelnbonn.jp/
E-mail： r310130s@yahoo.co.jp

教会 HP

OTHERS

アメリカ

パイン合同メソジスト教会　Pine United Methodist Church

426 33rd Ave., San Francisco, CA　94121-1606　U.S.A
Phone : +1-(415)387-1800（代表）　+1-(415)387-1881（直通）
Fax : +1-(415)387-1801

ユニオン日本語教会　Union Japanese Church of Westchester

c/o Hitchcock Presbyterian Church
6 Greenacres Avenue, Scarsdale, NY 10583 USA
Phone : +1-914-722-4554
教会 HP：http://www.ujcw.org

日本人特別牧会　Special Ministry to the Japanese

42 North Broadway, Tarrytown, NY 10591
c/o Special Ministry to the Japanese
Japanese American United Church
255 7th Avenue, New York, NY 10001 USA
Email : smjoffice10001@gmail.com
HP : https://smjgny.org/

ボリビア

ボリビア福音メソジスト教会　ラ・グロリア教会

Cassila 582 Santa Cruz, BOLIVIA
Phone : +591-3923-7128

ベニス合同メソジスト教会の食料配布プログラム。ロサンゼルスの久山康彦宣教師が財務理事を務める財団では、資金運用によって得た利益を分配しコロナの為に仕事を失った家族などに8000人分の食料を提供。

1. 海外で働く教団宣教師を支えるために

〈派遣先〉インド、シンガポール、フィリピン、台湾、韓国、米国、カナダ、ブラジル、パラグアイ、ドイツ

2. エキュメニカル奨学金

日本基督教団関係学校で学ぶアジア地域等からの留学生支援のために用いられます。

3. 教団受入宣教師支援のために

世界宣教の日献金 2021年度目標金額

500万円

日本基督教団 世界宣教委員会
〒169-0051　東京都新宿区西早稲田2-3-18
TEL：03 3202-0544　MAIL：ecumeni-c@uccj.org

THAT WE MAY SERVE TOGETHER

宣教師および配偶者*の誕生日

10月	6日	高井ヘラー由紀
	12日	アンドレアス・クレーマー*
11月	11日	久山啓子*
	18日	江原有輝子
12月	1日	正木浩子*
	16日	長尾有起
	28日	正木義道
	31日	森谷和夫
1月	4日	三浦孝子*
	18日	山本　一
	29日	ダニエル・ヘラー*
	30日	佐々木良子
2月	2日	川上　寧
	16日	ベルトラン小川文子
	19日	松本正子*
3月	12日	三浦照男
	20日	山本知恵*
	26日	石田　求
5月	23日	松本章宏
6月	9日	小井沼眞樹子
	17日	川上真咲
	30日	うすきみどり
7月	18日	森谷タマラ*
8月	18日	久山康彦
9月	7日	秋葉睦子
	13日	ガマリエル・ベルトラン・Jr*

誕生日やクリスマスなど、折にふれカード等を出してくだされば、大きな励みになります。どうぞお覚え下さい。

THAT WE MAY SERVE TOGETHER

2020 年度「世界宣教の日」献金一覧

北海	
余市教会	8,450
奥羽	
日詰教会	5,000
一関教会	5,000
秋田桜教会	3,000
東北	
山都教会	5,000
関東	
新津教会	11,032
草加教会	10,000
西川口教会	10,000
埼玉和光教会	10,000
大宮教会	10,000
和戸教会	5,000
シャロンのばら教会	5,000
水戸教会	5,000
毛呂教会	5,000
所沢みくに教会	5,000
久喜復活伝道所	5,000
武蔵豊岡教会	5,000
東中通教会	5,000
下館教会	3,000
佐渡教会	3,000
東京	
原宿教会	200,000
西千葉教会	50,000
霊南坂教会	50,000
南支区婦人委員会	43,600
千歳船橋教会	37,000
信濃町教会	30,000
滝野川教会	20,000
柏教会	20,000
千葉教会	20,000
本多記念教会	20,000
三軒茶屋教会	20,000
奥沢教会 婦人会	10,000
目白教会	10,000
百人町教会	10,000
田園調布教会シオン会	10,000
奥沢教会	10,000
洗足教会	10,000
経堂緑ケ岡教会	10,000
下谷教会	10,000
野田教会	7,670
十条伝道所	5,000
小松川教会	5,000
勝田台教会	5,000
亀戸教会	5,000
千葉本町教会	5,000
市川三本松教会	5,000
弓町本郷教会	5,000
長浦教会	3,000
佐倉教会	1,000
西東京	
阿佐ヶ谷教会	139,855
南三鷹教会	30,000
狛江教会	20,000
野方町教会	20,000
東大和教会	10,500
鶴川北教会	10,000
白鷺教会	5,000
永福町教会	5,000
ひばりが丘教会	5,000
神奈川	
横浜港南台教会	20,000
横浜本郷台教会	15,000
横浜菊名教会	10,000
六角橋教会	10,000
三田教会	10,000
新丸子教会	10,000
茅ヶ崎恵泉教会	10,000
茅ヶ崎教会	5,000
大船教会	5,000
片瀬教会	3,000
横浜磯子教会	3,000
東海	
神愛教会	5,000,000
軽井沢追分教会	6,000
掛川教会	3,000
掛川教会	1,600
中部	
金城教会	40,052
半田教会	10,000
魚津教会	10,000
御器所教会	10,000
金沢元町教会	5,500
春日井教会	5,000
天白教会	5,000
南山教会	5,000
能登教会	4,000
京都	
洛陽教会	10,000
大阪	
石橋教会	35,000
河内松原教会	5,000
八尾教会	4,000
兵庫	
神戸栄光教会	50,000
西宮一麦教会	15,000
はりま平安教会	5,000
西神美賀多台教会	3,000
宝塚小林教会	3,000
神戸東部教会	3,000
東中国	
岡山教会	5,000
西中国	
三次教会	3,000
隠岐教会	2,000
四国	
今治教会	10,000
宇和島南伝道所	1,000
九州	
熊本白川教会	10,000
長崎銀屋町教会	10,000
熊本草葉町教会	10,000
平戸伝道所	8,000
宮崎教会	5,000
錦ケ丘教会	5,000
沖縄	
糸満教会	1,000
団体	
横浜英和学院	40,000
うすきみどり牧師を支える会	30,000
個人	
知花スガ子	30,000
鈴木優子	10,000
廣安眞太郎	10,000
佐藤義子	5,000
海外	
共同世界宣教（CGMB）	84,000
合計	**6,624,259**

THAT WE MAY SERVE TOGETHER

支援会一覧

インド三浦後援会　郵便振替 00180-1-279372

〒 145-0071 東京都大田区田園調布 3-34-18　代表：坂本洋

松本章宏宣教師後援会

〒 085-0806 北海道釧路市武左 1-30-4

ベルトラン・ミッションパートナーズ　郵便振替 00190-4-361321

〒 155-0032 東京都世田谷区代沢 2-13-13　代表：清弘剛生

うすきみどり牧師を支える会　郵便振替 00970-9-267222

〒 651-0076 神戸市中央区吾妻通 5-2-20　神戸イエス団教会　代表：坂本清音

高井ヘラー由紀宣教師を支える会　郵便振替 10190-79048851

〒 204-0004　東京都清瀬市野塩 5-28-13　フロンテ秋津 102 佐藤摂子方　代表：佐藤摂子

石田求宣教師を支える会　郵便振替 00910-7-334484

〒 981-0923 仙台市青葉区東勝山 2-27-18　日本基督教団仙台北教会内
代表：菅根信彦

山本一宣教師と家族を支える会　郵便振替 00950-9-165144

〒 652-0045　兵庫県神戸市兵庫区松本通 8-5-8　松本通教会内　代表：菅根信彦

小井沼眞樹子宣教師と共に歩む会　郵便振替 00210-2-97571

〒 234-0054　横浜市港南区港南台 7-8-29 横浜港南台教会 中沢 譲
代表：松本敏之、大倉一郎

江原有輝子牧師パラグアイ伝道支援会　郵便振替 00110-9-792292

〒 166-0001 東京都杉並区阿佐谷北 5-18-10 阿佐ヶ谷教会内　代表：古屋治雄

秋葉睦子宣教師のベルリン伝道を支える会　郵便振替 00130-9-297684

〒 156-0042 東京都世田谷区羽根木 2-1-12 秋葉方　代表世話人：笠原義久

佐々木良子宣教師を支える会　郵便振替　00120-3-450845

〒 134-0081 東京都江戸川区北葛西 4-3-9 小松川教会内　会長：物井惠一

世界宣教の日献金

郵便振替番号　00140-9-145275
（お振込の際は、必ず「世界宣教の日献金」とご明記ください）

毎年 10 月第 1 日曜日は、海外で働く教団宣教師を支える「世界宣教の日」です。私達は毎年この日に、「世界宣教の日献金」を行っています。

教団の派遣宣教師を覚え、祈りと献金を捧げましょう。

2008 年には、アジアなどからの留学生の為に「日本基督教団エキュメニカル協力奨学金」制度を創設しました。この献金の一部も奨学金資金に繰り入れられます。将来母国で活躍されるキリスト者留学生への奨学金です。

献金は、上記奨学金に加え派遣宣教師の生活費・活動費・医療緊急費に使われます。

日本基督教団　受入宣教師リスト

任地	名前	派遣ボード
北海教区		
北海教区	スクルマン・ディヴァン *	台湾基督長老教会 (PCT)
北星学園大学	ゲッツ・トーマス *	アメリカ合衆国長老教会 (PCUSA)
酪農学園	朴美愛（パク・ミエ)*	大韓イエス教長老教会 (統合）(PCK)
遺愛学院	カールソン・ブリットニー	国際福音宣教会 (OMF)
奥羽教区		
日詰教会	張仁惠（チャン・インヘ）*	基督教大韓監理会 (KMC)
秋南教会	鄭仁和（チョン・インフゥ）*	大韓イエス教長老教会 (統合）(PCK)
弘前学院聖愛高校	ケン・テホ *	米国、アライアンス教団 (C&MA)
関東教区		
西那須野教会	潘炯旭（バン・ヒュンウク)*	基督教大韓監理会 (KMC)
東松山教会	崔長壽（チェ・ジャンス)*	大韓イエス教長老教会 (統合）(PCK)
アジア学院	アッパウ・バーナード・ティモシー *	全アフリカ・バプテスト連盟
アジア学院	マッカーリー・ジョナサン *	合同メソジスト教会 (UMC)
アジア学院	マッカーリー里美	合同メソジスト教会 (UMC)
アジア学院	ヘルナンデス・アビガエル	共同世界宣教局 (CGMB)
アジア学院	ボウドル・エミリー	米国、ブレザレン教会 (BVS)
共愛学園高校	荒谷出 *	合同メソジスト教会 (UMC)
共愛学園小学校	タープストラ・ウィネット	アメリカ改革派教会 (RCA)
東京教区		
西荒川教会	オズバーン・エヴァート *	共同世界宣教局 (CGMB)
久ヶ原教会	キスト岡崎さゆ里 *	アメリカ改革派教会 (RCA)
久ヶ原教会	キスト岡崎エイブラハム *	アメリカ改革派教会 (RCA)
池袋台湾教会	郭寛城（クウォ・クゥンチュン)*	台湾基督長老教会 (PCT)
百人町教会	賈晶淳（カ・ジュンスン)*	韓国基督長老会 (PROK)
代々木上原教会	ウミピッグジュリアン・デヴォラ	合同メソジスト教会 (UMC)
我孫子教会	金南救（キム・ナムグ）*	基督教大韓監理会 (KMC)
ウェスレー財団	小海光 *	合同メソジスト教会 (UMC)
聖学院	サザディン・ディーン	共同世界宣教局 (CGMB)
青山学院大学	シュー土戸・ポール *	合同メソジスト教会 (UMC)
青山学院大学	リーディー・デイヴィッド	合同メソジスト教会 (UMC)
女子聖学院高校	ブレイクスリー・ネイサン	アメリカ改革派教会 (RCA)
明治学院高校	斎藤直実	アメリカ改革派教会 (RCA)
西東京教区		
ロゴス教会	山本俊正 *	合同メソジスト教会 (UMC)
狛江教会	李倫尚 (イ・ユンサン)*	大韓イエス教長老教会 (統合）(PCK)
狛江教会	李香奈 (イ・カナ)	大韓イエス教長老教会 (統合）(PCK)
東京台湾教会	李敏功 (リ・ミンクン)*	台湾長老基督教会 (PCT)
東京神学大学	ジャンセン・ウェイン *	アメリカ改革派教会 (RCA)
農村伝道神学校	ウィットマー・ロバート *	カナダ合同教会 (UC-Canada)

任地	名前	派遣ボード
桜美林大学	メンセンディーク・ジェフリー *	共同世界宣教局 (CGMB)
ボランティア活動	ジャンセン美穂	アメリカ改革派教会 (RCA)
神奈川教区		
海員宣教	ジュリアン・ロナルド	合同メソジスト教会 (UMC)
寿地区センター	鄭芝永 (チュン・ジヨン)*	韓国基督長老会 (PROK)
フェリス女学院中高	キムラ・ジョセフィーン	アメリカ改革派教会 (RCA)
フェリス女学院中高	ブラウネル・ネイサン *	アメリカ改革派教会 (RCA)
フェリス女学院中高	ミラー・マディソン	アメリカ改革派教会 (RCA)
横浜女学院中高	ゴー・ジュリア	アメリカ改革派教会 (RCA)
ボランティア活動	ブラウネル・のぞみ	アメリカ改革派教会 (RCA)
東海教区		
山梨英和大学	洪伊杓（ホン・イピョ）*	基督教大韓監理会 (KMC)
中部教区		
魚津教会	ウェーラー・ルツ・エステル *	スイス・バプテスト教会
中川ぶどうの木伝道所	尹成奎 （ユン・ソンキュ)*	基督教大韓監理会 (KMC)
金城学院	吉松純 *	合同メソジスト教会 (UMC)
金城学院	オクイン・ケイトリン	ブレザレン教会 (BVS)
京都教区		
ゴスペルハウス伝道所	金度亨 (キム・ドヒョン)*	基督教大韓監理会 (KMC)
同志社大学	メンセンディーク・マーサ	共同世界宣教局 (CGMB)
大阪教区		
大阪聖光教会	崔炳九 (チェ・ビョング)*	大韓イエス長老教会（白石）(PGAK)
泉大津教会	崔弘徳 (チェ・ホンドク)*	大韓イエス教長老教会 (統合）(PCK)
石橋教会	金鍾圭 (キム・ジョンキュ)*	基督教大韓監理会 (KMC)
森小路教会	林尚俊 （イム・サンジュン)*	国際独立教会連合
兵庫教区		
武庫之荘教会	今泉信宏 *	合同メソジスト教会 (UMC)
姫路栄光教会	朴光用 (パク・クゥンヨン)*	大韓イエス長老教会（大神）
能勢口教会	金珍熙 (キム・ジンヒ)*	基督教大韓監理会 (KMC)
啓明学院高校	キッチン・セアドール	合同メソジスト教会 (UMC)
関西学院大学	ヘアマンセン・クリスチャン・モリモト	ノルウェールーテル教会 (NLC)
関西学院高等部	デルミン・ダニエル	英国メソジスト教会 (MC)
(関西学院中学部)	(スラッシャー・ジュリア)	(クリスチャン・エデュケーター)
九州教区		
活水女子大学	ノーリス・シーラ	英国メソジスト教会 (MC)
鎮西学院高等学校	ボーネット・クリスティーナ	Gateway Community Church

注：＊印は按手礼受領者

あとがき

MAKOTO KATO
加藤　誠　世界宣教幹事

今年も皆様に「共に仕えるために」をお届けできますことを主に感謝いたします。

コロナの状況は世界を見渡しても厳しいものがありますが、日本でもワクチン接種が始まったにも関わらず、この原稿を書いている時点で東京では 3000 人を超える新規感染者が数えられています。日本基督教団は 7 月の常議員会で教団総会の一年延期を決定いたしました。ここ数年教団では機構改定が大きな話題です。負担金の収入減が原因ですが、先ずは教団の中の委員会等の仕組みを変えるのが機構改定です。機構改定案の中には伝道局構想がありますが、その中に世界宣教委員会は入っていません。数十年にわたり海外に宣教師を派遣し、その 3 倍の人数の宣教師を受け入れてきた世界宣教の働きは「伝道」ではないと位置づけられています。世界宣教委員会としてこの「構想」には異議を唱えたいと思います。

小井沼眞樹子宣教師からは、東京オリンピックに合わせて多宗教サービスにポルトガル語のビデオを届けていただきました。ナグネ宣教師は 2021 年 3 月に長老会神学大学校とセムナン教会日本語部での働きを終えられて帰国されました。川上寧・川上真咲宣教師は 2022 年 3 月末が任期でしたが、ご本人たちの都合で 9 月末をもってベルギー日本語プロテスタント教会を離任されます。2021 年の「世界宣教の日」は 10 月 3 日です。その日を基準に考えてご本人たちの連絡先や支援会の情報は載せないことといたしましたのでご了解ください。

世界宣教委員会

委員長	西之園路子	野田教会牧師
書記	近藤　誠	仙台北教会牧師
委員	小海　光	ウェスレー財団代表理事
	ロバート・ウイットマー	農村伝道神学校校長
	宮本和武	日本キリスト教社会事業同盟（パット博士記念ホーム園長）
	ジャンセン・ウェイン	宣教協力学校協議会（東京神学大学教授）

共に仕えるために　　No.37

発行日：2021 年 8 月 20 日
発行：日本基督教団　世界宣教委員会
住所　169-0051　東京都新宿区西早稲田 2-3-18　日本キリスト教会館 31 号室
電話　03-3202-0544
MAIL　ecumeni-c@uccj.org
郵便振替　00140-9-145275　　日本基督教団
印刷：山猫印刷所

共に仕えるために No.37

日本基督教団 世界宣教委員会